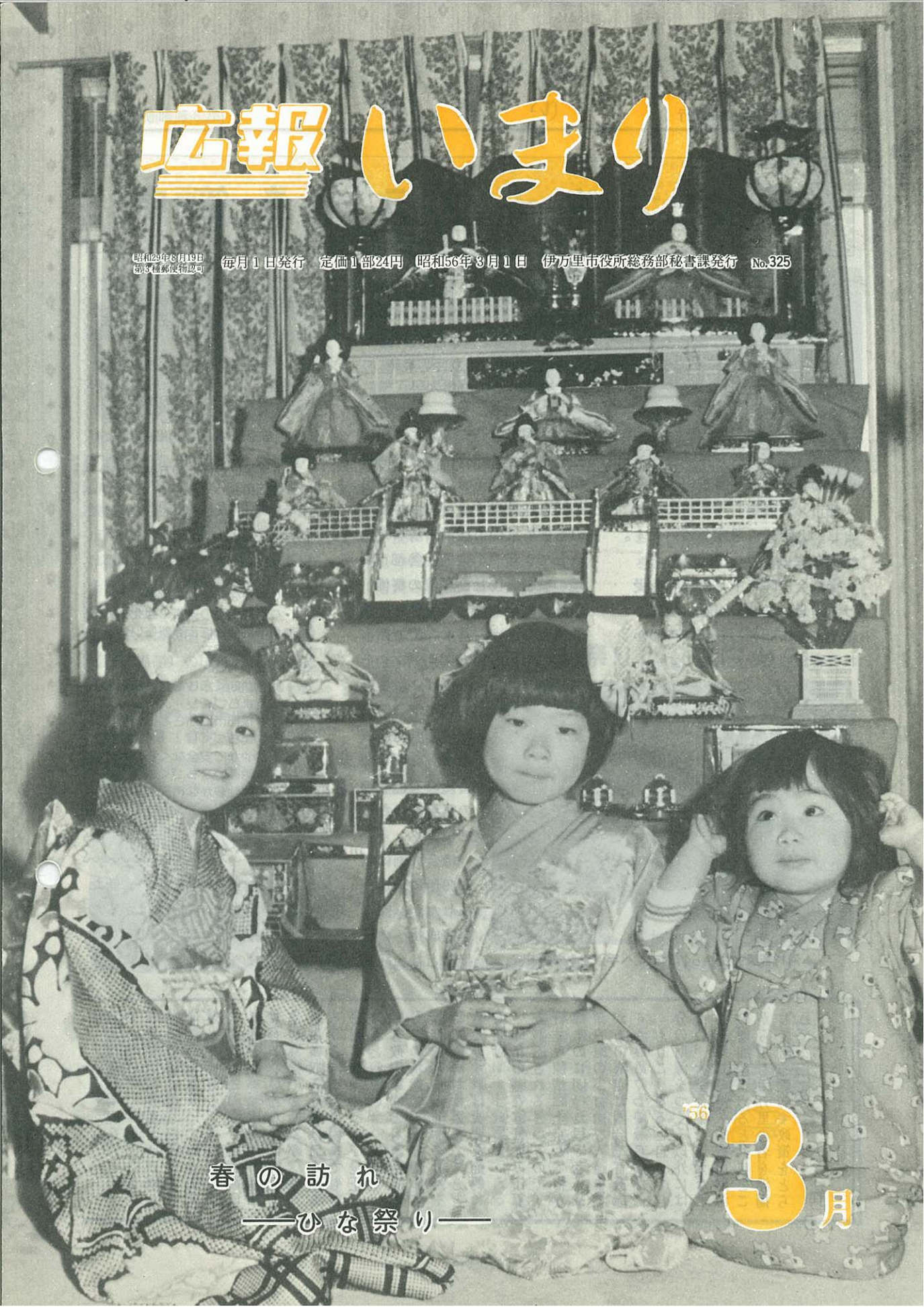


広報 いまり

昭和29年8月19日 第3種郵便物認可 毎月1日発行 定価1部24円 昭和56年3月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No.325



春の訪れ
—ひな祭り—

156
3月

新・マスタープランを答申

伊万里市総合計画審議会（河村兼雄会長＝30人）は、「産業と文化が創る健康な伊万里湾中核都市」を都市像とした新マスタープラン（総合計画）案をまとめ、2月10日竹内市長に答申しました。

答申された計画案は3月議会の議決を経たあと、3か年の実施計画をつくり、マスタープランの具体化を進めます。

答申された伊万里市総合計画（マスタープラン）案は、基本構想の目標年次を21世紀（10万人都市）に展望しつつ昭和65年とし、8万人を設定しています。（現在人口6万1,000人）

審議会は昨年7月に諮問を受け、構想、総務、福祉・教育、産業、都市開発の5部会にわかれて審議してきたものです。

計画案は①歴史・文化の再評価、②将来に向けた資質の活用③創造・連帯・参加による市民の知恵を結集する、三つの理念のもとに五つの施策の基本方向として①産業の振興、②都市環境の整備、③社会環境の整備、④教育文化の振興、⑤自治行政の確立をあげ、基本計画で都市創造のための10のプロジェクト

を掲げ「産業と文化が創る健康な伊万里湾中核都市」を都市像と定めて、これの実現をめざしています。

総合計画は昭和49年に策定しましたが、安定経済成長への転換など社会経済



▲河村審議会長から竹内市長へ手渡される答申

総合計画の基本構想

三つの理念と五つの柱

◇三つの理念

1. 伊万里の歴史・文化の再評価
 - 港湾都市としての歴史
 - やきものの里としての歴史
 - 石炭エネルギー供給基地としての歴史

2. 将来に向けた伊万里の資質の活用

- 地理的条件の活用
- 海洋空間の活用
- 土地空間の活用

3. 創造・連帯・参加による市民の知恵の結集

- 豊かな人間性の創造
- 市民相互の連帯の強化
- 市民参加による新しい住民自治の確立

◇五つの柱

1. 豊かなくらしを支える活力あるまちづくり
2. 中核都市にふさわしい機能的なまちづくり
3. 健やかで安全なくらしができる明るいまちづくり
4. 人間性豊かな市民を育てるまちづくり
5. 市政と行政が一体となったまちづくり

情勢の大きな変動に伴い、新たな課題に対処し発展をはかるため、基本構想の見直しを行い改定するものです。

算にはそれも見込むことができない。
産炭地振興法だけが漸く存続の域に達したが、その他存否のかかっている制度がかなりある。
政府はこのようなものは係数がコンマ以下でも基準に合わないとなさけ容赦なく切り捨ててゆくが、ギャップ収入などは何十億あろうと特別交付税までもいまだにつけてやっては正しようとしなない。
行政改革なども泰山鳴動しての状態で、思い切った陳情政治を廃止するか、せめて市町村は県まででどめるかすれば大変な節約になる。
昨年の暮など軒並み予算が減らされるというので、軒並み陳情に上京して宿を探すのに困った程で老人やからだの不自由な人達までがあの寒空に国会や官公庁を駆けめぐっておられた。もうこうなると自分で自分の財源をつくる以外にはない。大型企業や短大などを誘致して恒久的自己財源の増加に務めると共にどこからでも伊万里の名を浮揚して町を賑わす政策をとらねばならない。

（竹）

西部バイパス 伊万里大橋に着手

国道202号と204号を結ぶ二里～黒川線バイパス（通称＝西部バイパス）の新設工事が昨年1月から始まっていますが、この工事の一環として伊万里川をまたぐ「伊万里大橋」の起工式が2月9日に行われました。

西部バイパス工事は、二里方面に通じる国道202号と黒川・波多津方面に通じる204号が、市内中心部を通過しないと結ばれないため、直結して交通混雑を緩和させようと計画されたものです。

バイパスは国見台公園入り口（野球場側）の国道202号から八谷棚を通して木須町の204号を直線1.3kmで結ぶ道幅11mの2車線道路（暫定）で、59年度

完成をめざし、県が事業費約30億円をかけて行っています。

伊万里大橋は長さ94.5mで将来の4車線計画に合わせ幅22mと、伊万里で最も大きい橋が58年度には出来上がります。

このほか、国鉄松浦線や新田川を長さ約330mの高架でまたぐ工事も近く着工が予定されて



▲伊万里大橋の起工式で伊万里川をお払い

おり、西部バイパス工事は完成をめざし、いよいよ本格工事に入りました。

トンテントン祭りは22日から 従来通りに期日を変更

いまり秋祭り（トンテントン祭り）の開催期日が、今年から10月22日～24日の3日間にもどして催されることになりました。

トンテントン祭りはウィークデーではみこしの担ぎ手が足りない事、観光面の効果など考え合わせ、昭和49年から10月の第3金・土・日曜に変更していました。ところが開催期日が毎年

変わるために観光面のメリットもかえって紛らわしく宣伝しにくいなどの逆効果の面があり、期日についての批判があったため市民アンケートをしたところ「期日を昔に戻す」の意見が圧倒的に多く、みこしを担ぐ出番町の再編をきっかけに、今年から期日を従来通りに固定化することになりました。



来年度の予算編成を終ったが、国の予算に依存度の高い地方自治体は、国の予算がきびしいだけに、さらにそれを上回った苦しい収支に迫られている。いま市税の総予算に占める割合は十七％程度であるが、不景気の影響でその伸びが期待できなくなった。国も国税の伸びがなく収支のバランスがとれないので地方への補助金にメスを入れてその対象をへらしたり額や率を落し始めている。加えて財政力の乏しい地方自治体の救いの神であった制度が丁度改定期でこれも軒並み見直されている。先ず過疎法が既に改定されて道路舗装などの起債が昨年八〇％、今年は六〇％に減らされる。次に特定不況の援助が昭和五十五年までで、自治省ではそれに代わるものを考えているとはいいが当初予



ふるさとへ訪ねる運動を展開

関西・関東で物産と観光キャンペーン



東京でふるさと伊万里の観光PRをする竹内市長ら

市は、伊万里市の物産と観光客誘致推進協議会との共催で、郷土伊万里をふるさととする県外在住の県人会員を通して「みなさんのふるさと伊万里へ」と呼びかける「ふるさとへ訪ねる運動」の物産と観光キャンペーンを展開しています。

これは、観光客を増やそうと都会に住む郷土出身関係者（推定60万人）を対象に企画したもので、2月6日から8日の関西

地区を皮切りに、2月19日から21日は関東地区で行いました。関西・関東地区の物産と観光キャンペーンに訪れた竹内市長をはじめ力武観光協会会長らは、県人会や伊高・伊商・伊農同窓会の代表者と懇談会を開き、このほど完成した観光スライドや焼き物、カマボコ、みかん、お茶

観光スライド

「のびゆく伊万里」が完成

ふるさとの姿を収めた観光スライド「のびゆく伊万里」が、このほど完成しました。

これは伊万里商工会議所が1年がかりで製作したもので、やきもの積み出し港を背景にした歴史や文化、トンテントンなどの観光、造船・合板・窯業を中心とした産業など、歴史と現在の姿を織りまぜています。

スライドは170枚からなり、32分のナレーションで構成され観光宣伝のほか子供たちの郷土勉強の教材にも利用されます。

この製作には商工会議所の交

市の人口

2月1日現在

総人口	61,417人	(+16)
男	29,135人	(+3)
女	32,282人	(+13)
世帯数	16,785世帯	(+23)
市民課調、()は前月比		

などの物産品を持参して紹介しあわせて観光資源のPRを行いました。

懇談会では「他にない名産づくりを」と伝統ある焼き物の積極的なPRの必要性や「自然の景観をふまえた観光開発を」などのアドバイスを、また、観光スライドを見て自分たちも知らなかった郷土があり、子供の時から知らせておくことが大切であるなどの貴重な意見を受けるなど、キャンペーンは予想以上の成果を上げました。

地区別飲酒運転検挙者数

(昭和56.1.31現在 伊万里警察署調)

地区名	昭和55年中	1月	累計
伊万里	6	0	0
大坪	5	3	3
牧島	20	1	1
立花	11	2	2
大川内	10	0	0
黒川	12	0	0
波多津	6	0	0
南波多	5	0	0
大川	5	0	0
松浦	5	1	1
二里	10	0	0
東山代	10	0	0
山代	17	1	1
市外	38	3	3
計	160	11	11



▲できあがった観光スライド

表彰された生活学校連絡協議会

生活環境の浄化活動が認められる



▲生活学校の活動と贈られた表彰状

伊万里市生活学校連絡協議会は県内で他に先がけて市内の生活学校の組織化をはかり、その活発な活動が認められて、2月14日、佐賀県新生活運動連絡協議会から表彰されました。

市内の生活学校は、現在、各町に9校開設されており、349人の方が「生活環境の浄化」を

テーマに、それぞれの地域や生活に密着した活動を続けています。

例えば、牧島では合成洗剤の問題、東山代は資源の再利用、大川内は青少年の非行、山代は物価と流通をとりあげるなど、現代の社会や生活問題に積極的に取り組み、大きな成果をあげています。

市では、公民館活動の一環として、さらに広範囲な活動ができるようにしたい考えで、その準備をすすめています。

急傾斜地崩壊防止工事は 受益者負担が必要です

急傾斜地崩壊危険地区については危険区域の指定を受け、県営事業として崩壊防止工事が行われていますが、この工事は道路や河川などの公共事業とは異なり、事業費の10%は地元（受益者）負担となっています。

この地元負担金については、昭和55年以降新たに危険区域の指定を受け防止工事を実施した場合、地元負担金の2分の1を市で負担し、残り2分の1を受益者に負担していただくことになりました。

危険区域指定や、崩壊防止工事などについてのお尋ねは市役所建設課管理係（☎2111、内線334）へ。

小規模土地改良事業

申請受付は4月1日から

農業基盤整備を図るための小規模土地改良事業を共同で施行される方は、4月1日から5月31日までに認可申請書を提出してください。

◆対象事業◆

- ・1団地の受益農地面積がおおむね1ヘクタール以上で、受益戸数が5戸以上。
- ・農道（幅員2.5メートル以上）の新設および改良、溜池、水路（土水路を除く）頭首工、橋梁、農道舗装（幅員2.0メ



1月

貿易実績は8億8,178万円
で前月比2億2,239万円の増。

【輸出】 実績なし

【輸入】 8億8,178万円

【船舶の入港】 17隻

（日本船3、外国船14）

【寄港地上陸許可者数】

352人（フィリピン195人
中国78人、インドネシア50人、
韓国22人、英国7人）

3月の市民会館行事予定

- ・毎週金曜日 免許更新時講習
- ・7日（土） 10時～12時
健康診断（佐賀医学協会）
- ・8日（日） 9時～16時
伊万里市婦人大会（婦連協）
- ・15日（日） 17時30分～22時
明大マンドリンクラブ演奏会
- ・28日（土） 13時～17時
子供音楽発表会

ートル以上）などの事業で、いずれも総工事費が100万円以内の事業。

・補助率は当該事業に要する経費の100分の45以内。

※昨年申請しながら認可されなかった分については再申請が必要です。また、認可申請書が受け付け期限をすぎた場合は認可されませんのでご注意ください。

詳細については市土地改良課改良係（☎2111、内線381）へお尋ねください。

あなたと考える

青少年の

郷土の明日の担い手であり、無限の可能性を秘めた青少年——それは私たちの貴重な財産です。

その青少年が目まぐるしく移り変わる社会環境の中で押し寄せる誘惑の波にのまれ非行へと走っています。

犯罪の入り込む余地のない社会を築き、明るくたくましく育てるにはどうしたらよいか、今一度「青少年の非行を追い」見つめ直してみましょう。

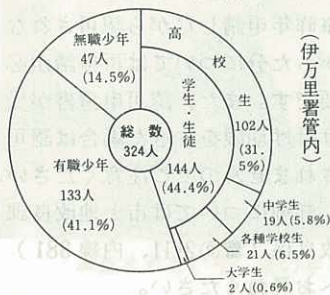


後を絶たない犯罪

いま、伊万里市では「犯罪の入り込む余地のない社会」そして、たとえ入り込んでも「犯罪が身動きできない社会」をめざして社会が病気に犯されない社会健康運動を展開しています。一方、現代の社会環境は経済の著しい発展と都市化の進行に伴い、青少年をめぐる問題もますます複雑化、多様化の傾向をみせており、非行は後を絶たずかえって増えている状況にあることも事実です。

昨年1年間の非行少年検挙補導状況(伊万里署)をみると、補導人員は409人で、前年同期

不良行為少年の学職別状況 (55年)



に比べると53人(15%)の増となっています。

非行の内訳は、刑法犯が79人でそのうちの74人(84%)が万引を中心とする窃盗で補導されています。また、喫煙や深夜はいかない、怠学などのぐ犯、不良行為は324人で、前年に比べ74人(30%)も増えています。

健康な環境づくりを

健全育成は地区ぐるみで

少年たちの周囲には、自動販売機で気軽に手に入るポルノ雑誌がはらんしています。

県内においても100台以上が設置されており、販路は都市部から農村部へと広がっています。市内でも昨年2か所に設置されましたが、地区住民の強い要望で撤去されました。しかし、今年に入ってから他地区2か所に設置されており、反対運動の声をよそに法的規制がないため、

非行少年検挙補導状況(55年)
(伊万里警察署管内)

区 分	年 別	補導人員		前年比
		54年	55年	
刑 法 犯 少 年	犯罪少年	71	68	-3
	触法少年	17	11	-6
	計	88	79	-9
特 別 法 犯 少 年		18	6	-12
ぐ 犯 ・ 不 良 行 為 少 年		250	324	+74
合 計		356	409	+53

完全撤去の決め手を欠いているのが現状です。

青少年育成市民会議ではポルノ雑誌自動販売機の設置防止対策として、地区ぐるみの追放運動を呼びかけています。

青少年を健全育成するためには、家庭、学校、職場、地域において望ましい健康な環境を整備し、適切な指導や援助の手をさしのべるなど、総合的な対策が必要です。

非行を追う

若い力を正しく伸ばそう

青少年が身心の健康を保ち、すぐれた英知を養い、情熱とたくましい行動力をもって、犯罪のない善意にみちた社会と住みよい郷土づくりに尽くすことは市民すべての願いです。

そのためには望ましい健康な環境と条件を整備しなければなりません。健康な環境づくりとは何かについて考えてみましょう。

ポルノ雑誌自販機を追放しよう

井手 功さん(南波多町谷口)



ポルノ雑誌の自動販売機は青少年を非行へと誘発する好材料になっています。書店にあれば少年の購入をチェックできる可能性もありますが、人通りの少ない箇所に設置している自動販売機の場合は、中・高校生でも自由に買うことができます。

私の住んでいる地区に自動販売機が設置されましたので、地区ぐるみで撤去運動を展開して取り除くことが出来ましたが、聞くところによると他地区に新

たに設置されたとのこと、これでは設置と撤去のいたちごっこになるのではと暗たんたる気持ちになります。

市民をあげて意識を盛り上げる住民運動を展開しないと、完全追放することはできないのではないのでしょうか。

非行防止は家庭から

金子弘子さん(山代町久原)



青少年をとりまく環境は著しく変わってきており、非行の実態も大都市から地方へと広がっています。以前は新聞などで報じられても、都市のできごととしてすまされていたのが、最近では身近な問題となってきています。その内容も、学校内で先生に対する暴力事件など、私たちの時代では考えられなかったことが起きています。

このような非行を防止するにはなんといっても家庭からです。親自身が親としての責任と使命を真に自覚するとともに、子供達の行動をしっかりとつかみ、世の中のルールの大切さを親子の談話の中で確かめ合うことが必要です。また地域の方々の理解と協力を得て、一人ひとりが非行防止に努めることが大切だと思います。

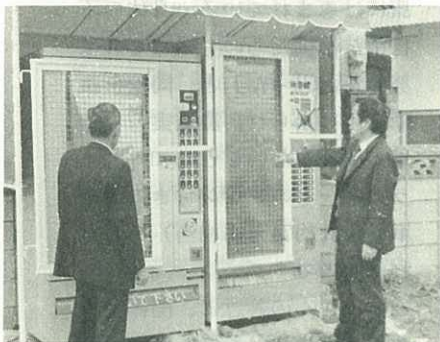
キャンペーン シリーズNo.30

家庭の日をみんなのものに

毎月第1日曜日は「家庭の日」です。この日には、家族みんなで一家だんらんの一日を過ごし、健全な青少年を育成しようというものです。

「家庭の日」実践例

- ◇家族そろって夕食をともにしましょう。
- ◇子供のよい話し相手になりましょう。
- ◇一日のできごとをお互いに話し合しましょう。
- ◇家庭内の仕事はみんなで分けあいましょう。
- ◇みんなで野外にでかけ自然に親しみましょう。
- ◇みんなでスポーツに親しみましょう。



▲市内に設置されたポルノ雑誌自動販売機

ありがとう あなたの善意

心あたたまる町の話

～その26～

余暇を青少年育成に

ボランティア・グループ 竹の子会

青少年の健全育成をはかり、明るい社会を築こうと日夜活躍しているボランティア・グループがあります。

このグループは緒方幸彦会長ほか20名の「竹の子会」の皆さんで、青少年を対象に毎月1回の映写会や、幼児から中学生までの飛行機大会、養護学校へのモチつき慰問など、地域社会に根ざした奉仕活動を続けておられるものです。

竹の子会は昭和52年に青年団OBが集まり、余暇を社会に役立てようと発足されたもので、会の名前も子供たちが竹の子のようすくすく育つことを願い「竹の子会」と付け、青少年の育成奉仕に励んでおられます。会長の緒方さんは「在学青年の

意識調査やキャンプ、レク指導など幅広い活動をしています。これからも活発な活動を続け社会のお役に立ちたい」と話しておられました。



▲映写会の準備をする竹の子会の皆さん

養護学校にトラクターを贈る

障害者に善意を寄せる橋口さん

今年が国際障害者年。それにふさわしい善意を寄せられ、感謝されている方がおられます。

この方は、蓮池町の橋口照二さん（53歳＝協立産業経営）で、

伊万里養護学校に実習用トラクターや運搬車、運動会の参加賞などを贈っておられるものです。

橋口さんが善意を始められたキッカケは、昨年の運動会で参加賞がないことを知人の同校教

師から聞き、文房具などを贈ったのが始まりで、その折、運動会に招待されてハンディを背負った子供たちが一生懸命に走るのを見て「恵まれない子供たちに愛の手をさしのべてやろう」と決意されたとのこと。

「私は特攻隊の生き残りで、健康には恵まれている。身体の不自由な子供たちの力になるのは努めだと思った」と、同校に援助を申し出られ、農業実習作業用の機械がないことを知り、トラクターとエンジン付きの運搬車（合計約74万円相当）を贈られたものです。

橋口さんの善意に、関係者はもちろん生徒たちもたいへん喜んでおられました。



▲恵まれない子に愛の手をと語る橋口さん



▲第1回市民健康展を開催(2/7~8)
健康な心と体で明るい町づくりを推進しようと「第1回市民健康展」が大坪公民館で催され、約500人の参加がありました。

▶厚生年金休暇センター本格工事に着手(2/21)
昭和58年の完成をめざし、国見台公園南側の建設予定地で起工式が行われました。



いま伊万里で

▶あすの暮らしをみつめる消費生活展(2/6~8)
賢い消費者になるためのいろいろな工夫や展示物が来場者の注目を集めました。



▲伊万里小学校旧校舎を解体(2/9撮影)
60年の歳月を経て、老朽化した伊万里小学校の旧校舎が解体されています。長い間ご苦労さまでした。



▲次代を担う農業青年が冬季のつどいを開く(2/14)
県内の農業に従事する青年約150人が大坪公民館で農業経営やクラブ運営などについて発表を行いました。



▶「もっと米を食べよう」と講習会(2/8)
米の消費拡大を推進するため、市内から参加者を募って「米の料理講座」が中央公民館で行われました。

緑の野原で健康づくり

市民体力づくり大会を開催

市と市教育委員会は市民の皆さんが体力づくりに関心をお持ちスポーツを日常生活の中に積極的にとり入れていただくこと、「第5回市民体力づくり大会」を行います。皆さんの多数の参加をお願いします。

▲期日 3月15日(日)
(雨天の場合は中止)

▲時間 9時開会

▲集合 国見台陸上競技場

▲種目と会場

○オリエンテーリング

会場：国見台・腰岳山麓

○ハイキング

会場：国見台～腰岳

○ゲートボール

会場：国見台球技場

○ジョギング

会場：国見台～富士町折返し

※参加ご希望の方は3月7日までに体育保健課(☎②2111、内線464)へお申し込みください。

婦人学級生を募集

申し込みは中央公民館へ

市中央公民館は昭和56年度の婦人学級生を募集します。

▲内容 ○洋裁(初心者)
○一般教養学習

▲日程 毎週1回月曜か火曜
9時30分～15時

▲資格 市内の一般家庭婦人

▲定員 70名(先着順)

▲申込日時 3月27日(金)
8時30分～12時

ご希望の方は印鑑持参のうえ市中央公民館へお申し込みください。(☎②7105)

NBCラジオのモニター募集

NBC長崎放送ではラジオの番組モニターを募集しています。応募希望の方はハガキに住所、氏名、年齢、職業を書いてNBC佐賀局番組モニター係(〒848佐賀市本庄町)へ3月25日までにお送りください。

謝礼は月6,000円です。



▲昨年の体力づくり大会(ジョギング)

名義変更・廃車手続きはお早めに

4月1日現在で軽自動車やバイクを所有している方には軽自動車税がかかります。

現在使用してなくても名義変更や廃車の手続きが済んでいない場合は課税の対象となり、また他市町村から納税通知書がきたりしてトラブルの原因となります。

次のような方は3月31日までに手続きを済ませ、その確認をしてください。

▶車を下取りに出した方 ▶他

税の申告はお済みですか

所得税や、市県民税の申告は3月16日までとなっています。

期間間近かになりますと、受け付け会場は大変混雑しますので早めにお済ませください。

また、申告で不明な点があれば市税務課や税務署、納税相談所にご相談ください。

特設人権相談

人権、相続、不動産などの問題について人権擁護委員と法務局員が相談をお受けします。

【黒川会場】

▲日時 3月12日 10時～15時

▲場所 黒川公民館

▲担当 人権擁護委員

小島満義氏

【大川会場】

▲日時 3月17日 10～15時

▲場所 大川公民館

▲担当 人権擁護委員

高添門司氏

人に譲った方、▶廃棄処分した方 ▶他人から譲り受けた方 ▶他市町村のナンバーを付けたままの方 ▶老朽化して使用できない車を所有している方

▲手続の場所

〔市役所税務課〕

原付自転車(50～125cc)

小型特殊車(農耕用を含む)

〔県陸運事務所(軽自動車協会)〕

軽自動車、二輪の自動車

※他に自家用自動車協会や行政書士事務所にて代行してくれます。

伊万里福祉会の職員（保母）募集

受け付けは3月10日～30日

伊万里福祉会の職員採用試験を次のとおり行います。

▲試験区分と採用予定人員

保母＝3名（女子）

▲資格

昭和30年4月2日から昭和38年4月1日までに生まれた方で、保母資格を取得または今年6月30日までに取得見込みの方。（他に居住地制限有り）

▲勤務場所

福祉会が運営する波多津・大川内・立花の各保育園

▲申込受付

3月10日から3月30日まで

▲申込書、試験案内の請求

市役所1階福祉会事務局で交付を受けるか、郵便で請求して下さい。郵便請求の場合は封筒の表に「採用試験申込書請求」と朱書き、70円切手をはった、あて先明記の返信用封筒を同封のこと。

※申し込み及び詳細についての問い合わせは伊万里福祉会事務局（〒848伊万里市立花台1-1、伊万里市役所内 ☎③2111内線264）へ。

踏切事故をなくしましょう

春の行楽シーズンを迎え外出の機会が多くなると踏切事故も多発する傾向にあります。

今年も管内ですでに10件の事故が発生し、3名の方が亡くなっています。

鉄道妨害事故をなくするため横断の際は十分注意しましょう。



鉄道事故は大惨事を招きます

次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。（敬称略）

社会福祉事業費へ

◆香典返しを寄付

- ・高田正市（亡妻キミエ 波多津町井野尾）
- ・牧瀬広志（亡父又市 東山代町里）
- ・三溝正比古（亡父政雄 松島町上松島）
- ・池田ユキエ（亡夫光雄 二里町大里）
- ・津上雪俊（亡母トモ 瀬戸町漁港）
- ・山口オツヤ（亡母トク 脇田町）
- ・山口義弘（亡父亀次 東山代町脇野）
- ・馬場武彦（亡妻初子 立花町西円）

ありがとう



ご支援ありがとうございました

- ・橋本道博（亡母キクノ 山代町楠久）
- ・西田秀雄（亡父文一 立花台一丁目）
- ・広瀬イトノ（亡夫桂喜 大川内町立川）
- ・松本久五郎（亡長男正則 山代町久原）
- ・島田匡士（亡母シカ 松浦町下分）
- ・高田瑞穂（亡父巳代治 松浦町上分）
- ・斎藤文作（亡母イネ 大坪町下古賀）
- ・前田兼士（亡母ヨシノ 大川内町市村）
- ・松尾禎之（亡父松市 松浦町東分）
- ・松尾進（亡母イワ 松浦町金石原）

◆篤志寄付

二万五三三〇円 嶋田春水社中春華会

（初生会の折の益金を）

- ・一、二四七円 森 英樹（松浦町金石原 期限満了の拾得金を）
- ・一万円 鳥山キヌエ（木須町木須西 期限満了の拾得金を）

交通遺児救済資金へ

- ・一万円 松尾勝馬（黒川町福田）
- ・八千円 匿名（大坪町柳井町）

教育振興奨励基金へ

- ・福岡洋一（亡父良一 大川内町大川内山）
- ・原田秀男（亡父弥平 脇田町 伊小指定 文化振興基金へ）

三万円 匿名（立花町渚）

- ・体育振興奨励基金へ
- ・一万円 中島絃一（新天町六五四）

市民病院施設整備資金へ

- ・仲尾 勝（亡父源吉 大川町東田代 明るい町づくり推進資金へ）

〔大坪公民館〕

- ・松尾 積（亡父一真 新天町）
- ・前田裕男（亡母トヨ 立花町渚）

〔大川内公民館〕

- ・川内嘉市（亡妻サヨ 大川内町小石原）
- ・福岡洋一（亡父良一 大川内町大川内山）
- ・前田兼士（亡母ヨシノ 大川内町市村）

〔南波多公民館〕

- ・山口幸夫（亡父新助 南波多町古里）

〔牧島公民館建設資金〕

- ・弘川善志（亡父関一 瀬戸町本瀬戸）
- ・鳥山 清（亡父安吉 木須町木須西）

〔東山代公民館〕

- ・川崎敬三（亡父定市 東山代町大久保）

こどものページ

伊小剣(団体)大里(団体)が2連勝

スポーツ少年団剣道大会

第11回スポーツ少年団剣道大会が、2月11日、国見台武道館で行われました。会場の武道館は昨年完成したばかりで、この大会では初めて使われましたが、参加した豆剣士360人は、りっぱな武道館に負けないように元気いっぱい試合をしていました。



熱戦が展開される剣道大会

- 【団体戦】**
- 小学校低学年（4年生以下）
優勝 伊少剣A（伊万里町）
2位 東武館（二里町）
3位 黒川（黒川町）
小学校高学年（5年生以上）

- 優勝 大里剣道（二里町）
2位 東武館A（二里町）
3位 錬心館（山代町）
中学校
優勝 波浦剣道A（波多津町）
2位 山代剣道A（山代町）

3位 山代剣道B（山代町）

【個人戦】

小学校低学年

- 男子 優勝 小松 充（東武館）
2位 友清貴広（松武館）
3位 畑島新也（松武館）
女子 優勝 中島礼恵（伊少剣）
2位 金子美由紀（久原）
3位 梶山三枝（赤門館）

小学校高学年

- 男子 優勝 浦川卓也（大里）
2位 山田浩司（赤門館）
3位 岩崎 崇（錬心館）
女子 優勝 末次智佐（伊少剣）
2位 大坂明子（伊少剣）
3位 中島徳恵（伊少剣）

中学校

- 男子 優勝 清水嘉浩（大里）
2位 牧瀬省吾（大里）
3位 栗原 剛（波浦）
女子 優勝 馬場真澄（大里）
2位 川久保イズミ（久原）
3位 松岡恵美子（松浦）

冬の青少年育成強調月間作文コンクール

小学校低学年の部最優秀賞

わたしのうちのこと



大坪小1年 いしもとあい

「ただいま。いまかえったぞ」とパパがかえってきました。わたしと、おとうとの大ちゃんは「おかえりなさい。」と大きなこえでいって、パパをはしってむかえにいきます。たまには、みつかからないようにかくれてむかえます。

わたしのおとうさんは、ちゅう学校のせんせいです。いつもくらくらなつてから、かえってきます。うちのパパはとてもよくおならをします。とてもおもしろいパパです。わたしのうちはおもしろいパパと、ちよっとうるさいママと、ほいくえんにいっているおとうと、わたしの四人かぞくです。

わたしは、じぶんでかんがえて、うちのめあてをつくりまして。おとうさんには、「あまりお

さけをのまないこと」とかきましました。おかあさんには、「かえってきたらかならず手をあらうこと」とかきました。おとうとの大ちゃんは、「ひとりであそばないこと」とかきました。わたしのめあては、

- 一、あさおきたら、ぱっときかえること。
- 二、よるは、はやくねること。
- 三、あまりあまいものをたべないこと。
- 四、へんじはげんきにすること。かきました。うちみんなは、わたしがつくったこのきまりをまもうとしていきます。このきまりをまもっているかママがみています。

おとうとの大ちゃんは、けんどうをならうといっています。パパにしないをかってもらいました。わたしはずっとまえ、パパのけんどうのめんをかぶってみました。なんだかつよくなつたようなきがしました。ママは「からだところがつよくなきゃだめよ。」といいました。けんどうをするところからだがつよくなるとパパがいいました。わたしもけんどうをならおうとおもっています。